

# 鈴木龍(フリッツェン) エースの証明

## 雨沢も3位に食い込む

### 自転車 JPT第13戦

自転車ロードレースのJプロツアー(JPT)第13戦「石川ロードレース」は15日、福島県石川町・浅川町周回コース(全長102.2キロ)パレードランを含む7時間13分6秒×7周で行われ、宇都宮フリッツェンの鈴木龍が2時間42分34秒で今季初優勝を飾った。雨沢毅も3位に食い込んだ。

フリッツェンは、シクロクロスチームの小坂

光がスポット参戦し、盤にできた逃げを容認し、コントロールし、終盤勝負8人でレースを展開。序でメイン集団を完全にコントロールし、終盤勝負を制した。



今季初優勝を飾ったフリッツェンの鈴木龍。福島県内、小森信道さん撮影

ラスト2周に入った上り反動から一気にペースを上げ、最終周回は前王者の雨沢、鈴木龍、岡篤志を含む4人の勝負に。数的優位を生かした鈴木龍がゴールスプリント勝負を制した。

那須フラーゼンは西尾勇人の11位、ホンダ栃木

は岡部航大の28位が最高だった。

JPT第14戦は21日、大田原市で「大田原クリテリウム」第15戦は翌22日に矢板市で、やいた片岡ロードレースを行う。

フリッツェン(2時間42分34秒) ①鈴木龍(宇都宮フリッツェン) 2時間42分34秒 ②雨沢毅(前王者) 2時間43分00秒 ③那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ④西尾勇人(同) 2時間43分00秒 ⑤岡篤志(同) 2時間43分00秒 ⑥小坂(同) 2時間43分00秒 ⑦那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ⑧雨沢毅(同) 2時間43分00秒 ⑨鈴木龍(同) 2時間43分00秒 ⑩那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ⑪西尾勇人(同) 2時間43分00秒 ⑫岡篤志(同) 2時間43分00秒 ⑬小坂(同) 2時間43分00秒 ⑭那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ⑮雨沢毅(同) 2時間43分00秒 ⑯鈴木龍(同) 2時間43分00秒 ⑰那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ⑱西尾勇人(同) 2時間43分00秒 ⑲岡篤志(同) 2時間43分00秒 ⑳小坂(同) 2時間43分00秒 ㉑那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ㉒雨沢毅(同) 2時間43分00秒 ㉓鈴木龍(同) 2時間43分00秒 ㉔那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ㉕西尾勇人(同) 2時間43分00秒 ㉖岡篤志(同) 2時間43分00秒 ㉗小坂(同) 2時間43分00秒 ㉘那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ㉙雨沢毅(同) 2時間43分00秒 ㉚鈴木龍(同) 2時間43分00秒 ㉛那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ㉜西尾勇人(同) 2時間43分00秒 ㉝岡篤志(同) 2時間43分00秒 ㉞小坂(同) 2時間43分00秒 ㉟那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ㊱雨沢毅(同) 2時間43分00秒 ㊲鈴木龍(同) 2時間43分00秒 ㊳那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ㊴西尾勇人(同) 2時間43分00秒 ㊵岡篤志(同) 2時間43分00秒 ㊶小坂(同) 2時間43分00秒 ㊷那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ㊸雨沢毅(同) 2時間43分00秒 ㊹鈴木龍(同) 2時間43分00秒 ㊺那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ㊻西尾勇人(同) 2時間43分00秒 ㊼岡篤志(同) 2時間43分00秒 ㊽小坂(同) 2時間43分00秒 ㊾那須フラーゼン(同) 2時間43分00秒 ㊿雨沢毅(同) 2時間43分00秒

宇都宮フリッツェン・雨沢毅明(前王者) 3位入賞に。「全員が役割を全うしてレースを支配できた。今季はあまり調子がよくなかったが、や

を全うしてレースを支配できた。今季はあまり調子がよくなかったが、や

### ハイライト

待ちに待った悲願の瞬間が、ついにこの男にも訪れた。宇都宮フリッツェンの鈴木龍が今季初優勝。移籍後初めて表彰台の中央に立ち、「全員が役目を果たしてつかんだ勝利。特別うれしい」と声も弾んだ。

平たんな部分がほと

### 鈴木龍 移籍後初のV

## 作戦と実力かみ合う

序盤からメイン集団を完全支配した。鈴木龍は今季新加入。スプリント力などに苦勞し、追い打ちを掛けようとした。全日本選手権で完敗。

序盤からメイン集団を完全支配した。鈴木龍は今季新加入。スプリント力などに苦勞し、追い打ちを掛けようとした。全日本選手権で完敗。

なんとなく、上りが長い。35度を超える猛暑。敵しい展開が予想される。中、フリッツェンはアシストを受けた鈴木龍が早めに仕掛けて先で成績を残せず「焦りもあった。やっと報いることができた。清々とした」と不安視していた指揮官だが、「この勝利で復讐の兆しが見えた」と明るかった。

チームはギアを上げ、21日からの本塁開催2連戦に挑む。この日の主役は「確実勝ちを狙える。集中して臨みたい」と既に2勝目を見据えていた。

(三谷早希)